
if...

みかげ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

if…

【Nコード】

N0421D

【作者名】

みかげ

【あらすじ】

コナン視点のある日の日常です。

吸い込まれるような青空に目をやると、自然とあいつの顔が浮かんでくる。

もしも、今小さくなっていなかったら…

高校でそれなりに勉強して、くだらねー話を仲間とだべって…、あいつの隣で…

今考えるとこんな奇妙な体験しているのって、俺と灰原くらいなもんか…

一旦思考を巡らすと、今更小学校一年生の授業を受けている生ぬるい頭脳が、目を覚ましてくる。

そりゃあそつだよな。ついこの間までは

「日本の救世主」とまで言われてたんだから――

コン

ん？と隣を振り返ると、灰原が呆れ顔をしている。気付くとクラスの奴らがみんな、俺の方をみている。

げ。

「江戸川くんーこの五番の問題分かるかな？空に犬でも飛んでいたの？」

どつと笑いが起こる。どうやら小林先生の犬の話題で盛り上がっていたようだった。

ため息をつきながら即興の答えを口にする。

「授業中、貴方また考え事していたわね。まあ、たいがい彼女のことかしら？ホームズさん？」

下校中の道のりで、歩きながら灰原が口を開く。

否定もできずに俺は

「…つたく、悪かったな…」

と灰原にじと目で返す。

「…それにしても、久々に貴方やかしていたわね。みんな驚いていたわよ？すぐさま答えをだして。あれ、応用問題だったらしいし。」

「マジかよ？」道理で、小林先生があの後変な顔していた。

「しっかりやってよ？貴方がこの生活に、どっぷりとはまっていたら困るのよ？」

へいへい… と返事をしようとしたら、急に上から声が降ってきた。

「なーにはまったら困るんだ？うな重にか？」

いつのまにか前を歩いていた三人が、怒ったように振り返っている。

「違いますよ元太くん。なんでいつもうな重に繋げようとするんですか？」

「もー、元太くんったら。…あーっわかった！！また二人でないしよの話をしてるんでしょ？」

「ぬけがけは許さねーぞ！？なに話してたんだ！？」

だんだんと話がまずい方向にいつている。

「ちっ、ちがうちがう。ゲームの話してたんだよ。どっぷりはまって大変で…」

「そっ、そうよ。今日みんなで博士の作った新しいゲームをしようか、って言っていたところだったのよ。」

灰原も俺にあわせて話を取り繕う。

「おー！それ本当か！？」

「やったー！最近博士の家行つてなかったよねー」

「今度はどんなゲームでしょうか！？」

三人はそれぞれの反応をし、早くいこうと駆けだしている。

「…ふう。」

「…ほんと子供って無邪気で良いわよね。」

そう言いながらも灰原の顔には、笑みが浮かんでいた。

この後、博士のうちでは二人で弁解しながらも、五人を受け入れてくれた。そうしてその日の午後は過ぎていった。

博士の家をでてから探偵事務所まで一人で帰る途中、ふと授業中の考え事を思い出した。

「もしも今小さくなっていなかったら。」

小さく口に出してみると、急にとても馬鹿らしい問いに聞こえた。

もしも？もしもなんて未来にはないんだ。

今、ここで小さくなったことでとても些細だけれど、貴重な体験が出来ているんだ。

それに蘭の事も…

丁度そこまで考えたとき、事務所の扉の前までたどり着いた。

俺は元気な、しかし偽りの声を張り上げながら、愛しい幼なじみの元へいくために、事務所の中へと飛び込んだ。

（後書き）

初投稿でした。後書きまで読んでくださりありがとうございます。

原作44・45巻を参考に書きました。感想・意

見ありましたら、喜んで参考に致します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0421d/>

if...

2010年10月11日17時08分発行